



有意義な夏休みを

園長 渡邊 博典

いよいよ夏休みがやってきました。子どもたちにとってわくわくする夏休みです。

長く続いている感染症対策から多くの行動が制限され、ご家庭にとっても帰省や旅行、夏のレジャーなど、計画が難しい状況だと思えます。しかし、幼い子どもにとって、夏休みの体験は大きな楽しみであり、成長できるチャンスです。幼児期から児童期にかけていろいろな体験を積んだ子どもは、相対的に自立心が強く、発想力の向上も期待できます。人から聞いて知ることや本を読んでわかることも大切な学びですが、自分の目で見ること、耳で聞くこと、体を動かすこと、心で感じることは「価値ある財産」になります。特別にどこかに出かけなくても、日常の生活の中で、子どもの興味あることに寄り添って親と一緒にしかかわる時間を持つことは、子どもにとって良き思い出になり、親子の絆を深めていくことでしょう。また、親の行動や言葉がけが子どもの興味関心を高める「仕掛け」になることも多いはずで、41日間、たくさんの「仕掛け」が親子のキャッチボールになって、子どもの成長につながってほしいと願います。

3歳の夏、4歳の夏、5歳の夏は一生に一度、ご家庭でぜひ楽しく有意義な夏休みとなりますように。

本園では下記のような夏休みの生活目標を立てています

- ① 寝る時間、起きる時間、食事の時間、テレビを見る時間を決めておきましょう
- ② お母さん、お父さんの手伝いをさせるようにしてください
(家事の中から子どもにできることをさせてください)
- ③ 知らない人に誘われたり、話しかけられたりしても絶対について行かないようにしましょう
- ④ 道路や駐車場は危険なので遊ばないようにしましょう
- ⑤ 暑い炎天下では帽子をかぶり、水分をしっかりととりましょう
また、マスクをつける際も熱中症に気をつけましょう

望ましい夏休みの過ごし方

- ① コロナ対策（手洗い うがい 人混みをさける マスク着用）をしましょう
- ② 虫歯や鼻などの長期治療を要する病気は夏休みを利用して治すようにしてください
- ③ 夏休みの間、子どもに何か目標を持たせ、達成できるようにしてください

子どもが自分で評価、点検のできるものが良いと思います

※上記の夏休みの目標等については、子どもたちと話し合いをしておりますので、ご家庭でも話し合ってください。